

# 地質地盤情報協議会のこれまでの活動

佐 脇 貴 幸<sup>1)</sup>

## 1. はじめに

地質情報は、防災施策、資源開発、社会的インフラの整備、環境保全・評価等のために重要な情報である。この地質情報のうち、特に様々な機関や機会(例えばボーリング)によって得られている地下の地質・地盤情報(地質地盤情報)を統合化・データベース化して一般に公開することが、「安全・安心な社会の構築」のために必要であるとの認識が、研究機関、地質調査業界等の間で高まってきた。また、この地質地盤情報の整備と公開に基づいた、新たなビジネスモデルが産み出されることが期待されている。

このような情勢を背景として、平成18年度に、(独)産業技術総合研究所(産総研)を中心とし、地質調査業界、研究機関、自治体関係者等が参画した産学官連携活動の場である産総研コンソーシアム「地質地盤情報協議会」が設立された。筆者は、地質調査情報センター地質調査企画室在籍時に同協議会の事務局として運営に携わり、現在は同協議会運営委員として関わっている。小論においては、本協議会のこれまでの活動について総括する。

## 2. 地質地盤情報協議会の活動

### 2.1 平成18年度

地質地盤情報協議会は、ボーリングデータに代表される地質地盤情報の整備・活用を通じて安全・安心な社会構築に寄与することを目指し、関係企業、大学・研究機関、政府関係機関、自治体等の情報交換・広域連携により、地質地盤情報の取り扱いやそれを利用した新規事業の可能性を検討することを目的として、平成18年4月17日に設立された。

初年度には、地質地盤情報整備のあるべき姿を明

確にするために、国・自治体関係者、地質調査業関係者、地質研究機関の研究者などの幅広い分野の方々の参加を得て、五回の意見交換会を開催した。この意見交換会では、主としてボーリングデータの取り扱い事例、法的位置付け等に関して活発に情報交換を行った。また、平成18年11月14日には、本協議会の活動の開始を周知すべく、産総研・地質調査総合センター、産学官連携推進部門、日本応用地質学会、(社)全国地質調査業協会連合会と共同し、地質調査総合センター第6回シンポジウム「地質情報の社会貢献を考える」(地質調査総合センター研究資料集No.446)を開催した。

以下には、上述の五回の意見交換会の講演題目を記す。

### 第1回意見交換会

日時 平成18年7月5日 14時30分～16時00分  
場所 産業技術総合研究所 丸の内サイト会議室  
講演

- ・ 諸外国におけるボーリングデータのWeb上での流通動向について  
(株)建設技術研究所 磯部猛也氏
- ・ オランダにおける地下地質データの整備状況  
NPO法人地質情報整備・活用機構  
会長 大矢 暁氏

### 第2回意見交換会

日時 平成18年7月31日 14時～16時  
場所 産業技術総合研究所 丸の内サイト会議室  
講演

- ・ 区役所におけるボーリングデータの取り扱いについて  
杉並区 都市整備部建築課 構造検査係長

1) 産総研 地圏資源環境研究部門

キーワード: 地質地盤情報, 整備と公開, データベース, 産学官連携活動, ビジネスモデル

大谷康郎氏

- ・ 統合化地下構造DBの構築について  
(独)防災科学技術研究所  
防災システム研究センター 藤原広行氏
- ・ 地理空間情報活用推進基本法案について  
東京大学空間情報研究センター 榊原庸貴氏

### 第3回意見交換会

日時 平成18年9月11日 14時30分～17時  
場所 産業技術総合研究所 丸の内サイト会議室  
講演

- ・ ボーリングデータベースに対する地盤工学会の最近の取り組み  
基礎地盤コンサルタンツ(株) 藤堂博明氏
- ・ 千葉県地質情報インフォメーションバンクの経緯と現状について  
千葉県環境研究センター 地質環境研究室長 楠田 隆氏
- ・ 地質調査情報センターのコアライブラリーについて  
(独)産業技術総合研究所  
地質調査情報センター 角井朝昭氏
- ・ 関西圏地質情報ネットワークに至る経緯と今後  
(財)地域地盤環境研究所 山本浩司氏

### 第4回意見交換会

日時 平成18年11月13日 15時～17時30分  
場所 産業技術総合研究所 丸の内サイト会議室  
講演

- ・ ボーリング情報における著作権や個人情報保護法との関係  
第二東京弁護士会 高木宏行氏
- ・ 提言書をまとめるにあたって  
コメント1) ボーリングコア等の整理について  
(株)村尾技研 新関敦生氏  
コメント2) 国立地質地盤情報データバンク設立の重要性について  
NPO 法人 地質情報整備・活用機構 岩松 暉氏  
コメント3) 北海道土木技術会のデータベース及び報告書に関する具体的提案  
北海道土質試験協同組合 榎本義一氏

### 第5回意見交換会

日時 平成19年1月25日 14時～16時  
場所 産業技術総合研究所 丸の内サイト会議室  
講演

- ・ 温泉および地熱開発現場におけるボーリングデータの取り扱い  
(株)地熱 浜田真之氏
- ・ 各県における温泉ボーリングデータの取り扱い  
(独)産業技術総合研究所  
地圏資源環境研究部門 顧問 野田徹郎氏

以上の意見交換会の中で得られた情報・議論の成果を「地質地盤情報の整備・活用に向けた提言－防災、新ビジネスモデル等に資するボーリングデータの活用－」として取りまとめ、平成19年3月に出版すると共に、同年5月にはウェブ上で公開した(<http://www.gsj.jp/Sgk/teigensho.pdf>)。これに述べられている提言は、以下の通りである。

1. 地質地盤情報は、地震防災、環境保全等に関わる政策を立案し「安全・安心な社会」を構築するために必要な、国民が共有すべき社会的資産・知的基盤情報である。
2. これまでに蓄積されてきた地質地盤情報の中には、その有用性が認識されぬまま死蔵、散逸、廃棄の危機に瀕しているものがある。そのような地質地盤情報を、社会的資産・知的基盤情報として整備することが緊急の課題である。
3. 地質地盤情報を、過去の蓄積分から将来の取得分にわたって、継続性かつ責任ある体制の下に、地質地盤情報データベースとして取りまとめ、広く国民に利用できるような施策を策定する必要がある。
4. 地質地盤情報の法的位置付けを明確にし、データベースの構築と利活用に関する法的・社会的障壁を取り除くよう、国、地方自治体、研究機関等の間の連携の下で、施策の策定を進めるべきである。
5. 地質地盤情報のデータベース化の推進及び利用拡大に基づいた、新たなビジネスモデルを創出する(イノベーション)ためのシステム作りを、関係各機関の連携の下に推進する必要がある。

### 2.2 平成19年度

平成19年度には、上記の提言書を広め、地質地盤

情報の重要性とその利活用について、より広い分野の方に理解していただくことを本協議会の活動方針とした。そのために、平成19年7月25日に、産総研・地質調査総合センター及び産学官連携推進部門との共催により、地質調査総合センター第8回シンポジウム「公共財としての地質地盤情報 -ボーリングデータの整備と活用-」を開催した(地質調査総合センター研究資料集 No.462)。また、平成20年3月11日には、産総研・地質調査総合センター、産学官連携推進部門、(社)全国地質調査業協会連合会、(独)土木研究所と共に、地質調査総合センター第10回シンポジウム「地質リスクとリスクマネージメント」を開催した(地質調査総合センター研究資料集 No.472)。

### 2.3 平成20-21年度

平成19年度の活動後、本協議会の活動はやや停滞していたが、平成20年度後半からは新たな活動方針として、これまでのように地質地盤情報を整備する側の意見だけでなく、それを利用するユーザー側の視点・意見をも広く吸収することとした。これを目的として、平成20年度から平成21年度にかけて、二度の意見交換会を開催した。その内容は以下の通りである(開催回数は平成18年度からの通番)。

#### 第6回意見交換会

日時 平成21年3月4日 14時～17時

会場 経済産業省 別館10階1012号会議室

講演内容

- ・ 国土地盤情報検索サイト KuniJiban の公開について  
国土交通省大臣官房技術調査課  
溝口宏樹氏
- ・ 神奈川県における地質地盤情報の公開  
神奈川県都市整備技術センター 吉村弘樹氏
- ・ 岡山県地盤図の紹介  
中国地質調査業協会岡山支部  
エイトコンサルタント 木村隆行氏
- ・ ジオ情報リソースを活用する新ビジネスの創出  
ジーエヌオー 亀和田俊一氏
- ・ 温泉(深井戸)ボーリングデータ公開の課題  
(財)中央温泉研究所 甘露寺泰雄氏
- ・ 「南関東ガス田研究」にとっての地質地盤情報の重要性

(独)産業技術総合研究所 地圏資源環境研究  
部門 佐脇貴幸・金子信行氏

・ 防災に役立つボーリングデータ

内閣府 参事官 地震・火山対策担当  
池内幸司氏

#### 第7回意見交換会

日時 平成21年6月3日 13時45分～17時30分

会場 富士ソフトアキバプラザ・セミナー室3

講演内容

第Ⅰ部 データベース整備とその成果

- ・ ボーリングデータ整備と公開の問題点

地質地盤情報協議会会長 栗本史雄氏

- ・ 農林水産省農村振興局における地質地盤情報の現状

農林水産省 農村振興局 農村政策部

農村環境課 環境資源保全官 中原正幸氏

- ・ 北海道における地質地盤情報の公開の現状と今後の予定、課題について

北海道立地質研究所 企画調整部

大津 直氏

- ・ 島根県におけるボーリング公開システムについて

中央開発株式会社 技術センター

王寺秀介氏

- ・ 平野域の地質図作成における地質地盤情報の利用と課題：5万分の1地質図幅「豊橋及び田原」を例にして

(独)産業技術総合研究所

地質調査情報センター 中島 礼氏

第Ⅱ部 データベースの活用：ユーザーの視点から

- ・ 強震動評価における地質地盤情報の利活用の事例

清水建設株式会社 技術研究所

藤川 智氏

- ・ 土壌汚染関係での地質地盤情報のデータベース、情報の公開、利活用について

(独)産業技術総合研究所

地圏資源環境研究部門 駒井 武氏

- ・ 地中熱利用における地質地盤情報の利活用について

NPO法人 地中熱利用促進協会

第1表 地質地盤情報の整備に関係する主な活動(提言書, 研究報告, シンポジウム等).

提言書, 研究報告, シンポジウム等	地質地盤情報協議会 (産総研ほか)	2006.4.17～	地質調査総合センター第6回シンポジウム「地質情報の社会貢献を考える」(2006.11.14) <a href="http://www.gsj.jp/Event/061114sympo/index.html">http://www.gsj.jp/Event/061114sympo/index.html</a>
			提言書「地質地盤情報の整備・活用に向けた提言 -防災, 新ビジネスモデル等に資するボーリングデータの活用-」(2007.3) <a href="http://www.gsj.jp/Sgk/teigensho.pdf">http://www.gsj.jp/Sgk/teigensho.pdf</a>
			地質調査総合センター第8回シンポジウム「公共財としての地質地盤情報 -ボーリングデータの整備と活用-」(2007.7.25) <a href="http://www.gsj.jp/Event/070725sympo/">http://www.gsj.jp/Event/070725sympo/</a>
			地質調査総合センター第10回シンポジウム「地質リスクとリスクマネージメント -地質事象の認識における不確実性とその対応-」(2008.3.11) <a href="http://www.gsj.jp/Event/080311sympo/">http://www.gsj.jp/Event/080311sympo/</a>
			地質調査総合センター第14回シンポジウム「地質リスクとリスクマネージメント(その2) -海外の事例と国内での新たな取り組み-」(2009.6.15) <a href="http://www.gsj.jp/Event/090615sympo/index.html">http://www.gsj.jp/Event/090615sympo/index.html</a>
	国土交通省大臣官房 技術調査課 「地盤情報の集積および利活用に関する検討会」	2006.10- 2007.3	提言書「地盤情報の高度な利活用に向けて 提言 -集積と提供のあり方-」(2007.3.2) → KuniJibanの公開 <a href="http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/13/130302_.html">http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/13/130302_.html</a>
	科学技術振興調整費 「統合化地下構造データベースの構築」 (防災科研, 産総研, 土研ほか)	2006-2010	第1回シンポジウム「統合化地下構造データベースの構築にむけて」(2007.3.9) 第2回シンポジウム「統合化地下構造データベースの構築 -データベースの連携で築く公共の地盤情報-」(2008.2.28) 第3回シンポジウム「統合化地下構造データベースの構築」-研究成果の中間報告-(2009.3.6) <a href="http://www.chika-db.bosai.go.jp/">http://www.chika-db.bosai.go.jp/</a>
	(社)全国地質調査業 協会連合会(全地連)	2007.12	地盤情報の活用と新ビジネス -地盤情報の資源化への道のり- 研究報告書 <a href="http://www.zenchiren.or.jp/geoinfo/katuyou.html">http://www.zenchiren.or.jp/geoinfo/katuyou.html</a>
		2008.8	「地質リスク分析のためのデータ収集様式の研究」報告書 <a href="http://www.zenchiren.or.jp/risk/risk3.html">http://www.zenchiren.or.jp/risk/risk3.html</a>
	日本応用地質学会 & 全地連	1997.8	「都市地震防災地盤図」の整備に向けて 提言 <a href="http://www.zenchiren.or.jp/message/state.html">http://www.zenchiren.or.jp/message/state.html</a>
	日本情報地質学会		日本情報地質学会シンポジウム2003「インターネット時代の地質情報」(2004.2.19) <a href="http://www.jsgi.org/symposium2003.html">http://www.jsgi.org/symposium2003.html</a>
			日本情報地質学会シンポジウム2004「地質情報の開示・公開に向けての活動状況」(2005.3.29) <a href="http://www.jsgi.org/symposium2004.html">http://www.jsgi.org/symposium2004.html</a>
			日本情報地質学会シンポジウム「Web-GISの現状と将来への展望」(2006.3.10) <a href="http://www.jsgi.org/symposium2005.html">http://www.jsgi.org/symposium2005.html</a>
			日本情報地質学会シンポジウム「Web-GISによる公開情報活用とその促進環境」(2006.12.15) <a href="http://www.jsgi.org/symposium2006.html">http://www.jsgi.org/symposium2006.html</a>
日本情報地質学会シンポジウム「日本情報地質学会を取り巻く現状と明日への一歩」(2008.3.18) <a href="http://www.jsgi.org/symposium2007.html">http://www.jsgi.org/symposium2007.html</a>			
日本情報地質学会シンポジウム「公開地質地盤情報データベースの活用と将来展望」(2008.11.21) <a href="http://www.jsgi.org/symposium2008.html">http://www.jsgi.org/symposium2008.html</a>			
地盤工学会 (関東支部)	2008.10.31- 11.1	関東地域における地盤情報データベースの運用と活用検討委員会に関連した研究討論会 <a href="http://www.jiban.or.jp/kantou/event/Geokanto/Geo-kanto2008DS.html">http://www.jiban.or.jp/kantou/event/Geokanto/Geo-kanto2008DS.html</a>	
(財)日本建設情報総合 センター(JACIC)	2008.11.11	JACIC第6回研究助成事業成果報告会 <a href="http://www.jacic.or.jp/movie/kenkyu/">http://www.jacic.or.jp/movie/kenkyu/</a>	
北海道立地質研究所	2007.6- 2009.2	地盤情報の整備・活用研究会 <a href="http://www.gsh.pref.hokkaido.jp/topics/jibanjoho/jibanjohokenkyukai_index.html#jshukenkyu">http://www.gsh.pref.hokkaido.jp/topics/jibanjoho/jibanjohokenkyukai_index.html#jshukenkyu</a>	
農業工学研究所 ・広域防災研究室 ・土木地質研究室		研究成果 <a href="http://ss.nkk.affrc.go.jp/kenkyu/section/zokobu/doboku/dobokutisitu5.pdf">http://ss.nkk.affrc.go.jp/kenkyu/section/zokobu/doboku/dobokutisitu5.pdf</a>	

第2表 これまでに整備・公開されてきた地質地盤情報に関わるデータベース・資料集等.

データ ベース (自治 体、独 法に ついて は既 報告 分も 含む)	国土交通省(土木技術研究所, 港湾空港技術研究所)	2008.3.28～	Kunijiban (=TRABIS) http://www.kunijiban.pwri.go.jp/ 2008.3.28 九州地方整備局分、関東地方整備局分公開 2009.1.9 中部地方整備局分公開 2009.3.30 北海道開発局、東北・北陸・近畿・中国・四国各地方整備局分公開及び関東・中部・九州 核地方整備局分追加
	環境省	1997.11(?)～	全国地盤環境情報ディレクトリ http://www.env.go.jp/water/jiban/dir_h17/index.html
	東京都土木技術センター	2007.3～	東京の地盤(Web版) http://doboku.metro.tokyo.jp/start/03-joyouhou/geo-web/00-index.html
	東京都杉並区		杉並区地質情報システム:ボーリングデータは反映されていない http://www.at-suginami.jp/mapoint/
	東京都港区	1994～	港区地盤情報システム:現状は不明 http://www.city.minato.tokyo.jp/joho/keikaku/joho/densi/files/johoka_007.pdf
	(財)群馬県建設技術センター	2008.3.25～	群馬県ボーリングMap公開 http://www.gunma-kengi.or.jp/bordb/index.htm
	栃木県土木整備部	2009.5～	とちぎ地質情報公開システム:とちぎの地盤マップ http://www.dgis.pref.tochigi.lg.jp/map/login.aspx
	埼玉県環境科学国際センター	2007.4.12 2009.5.11	埼玉県地質地盤資料集(ボーリング柱状図集、深層S波速度構造データ集)刊行 http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BA30/news/H19news/070412/chishitsu-shiryoushu070412.html 「e(エ)〜コバトン環境マップ」(埼玉県地理環境情報WebGIS):埼玉県地質地盤資料集の電子版 http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BE00/gisportal/top.html
	川越市		川越市の地質・地盤(分類図のみ) http://www.city.kawagoe.saitama.jp/bousai/ground/index.html
	千葉県	2002～	千葉県地質環境 インフォメーションバンク http://www.pref.chiba.jp/pbgeogis/servlet/infobank.index
	神奈川県都市整備技術センター	2007.8～	かながわ地質情報MAP公開 http://www.toshiseibi-boring.jp/
	横浜市	2006～	横浜市環境地質情報 http://www.city.yokohama.jp/kankyo/
	福井県		福井県地盤情報システム:CALIS/EC 登録サイト、データベースではない http://info.cals.pref.fukui.jp/base/index.html
	名古屋市	2004(?)	地盤環境情報システム:現在の公開状況は不明 http://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/fair/2004/gaiyou/h/h05.htm
	小牧市	2007.11.1	小牧市地質地盤図(出版物) http://www.city.komaki.aichi.jp/contents/10031460.html
	岡崎市		地質調査データの情報提供(資料自体は窓口で公開) http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu6099.html
	(財)三重県建設技術センター		地質データ(ボーリングデータ)に関する一元管理 http://www.mie-kengi.or.jp/
	鈴鹿市・地理情報サイト		複数の地理空間情報の公開:この一部として、ボーリングデータの公開有り(平成20年3月31日) http://www.city.suzuka.mie.jp/city/chiri/index.html
	神戸市	1995～	神戸JIBANKUN http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/jibankun/index.htm
	協同組合 島根県土質技術研究センター	2005(?)～	しまね地盤情報 http://www.shimane.geonavi.net/shimane/naiyou.htm
	岡山地質情報活用協議会	2008.5～	岡山県地盤情報:公開は2009.5.10(地質の日) http://www.jiban-okayama.jp/index.php
	地盤工学会 北海道支部(協議会形式)	1996～(その後 バージョンアップ 有り)	北海道地盤情報データベース http://www.jiban.or.jp/organi/shibu/hokkaido/sonota.htm
	地盤工学会 東北支部	2006.10.23～	東北地域地盤災害研究委員会「地盤データベース利活用小委員会」発足 http://www.soc.nii.ac.jp/tb-jigs/organization/committee.html#12-b
	地盤工学会 関東支部	2006.5～2008.3	関東地域における地盤情報データベースの運用と活用検討委員会:提言書(案)はH19.4.6公開 http://www.jiban.or.jp/kantou/group/kantodb.htm
	地盤工学会 北陸支部(協議会形式)	2007.12～	「ほくろく地盤情報システム」の試行運用 http://www.jiban.usr.wakwak.ne.jp/
	関西圏地盤情報ネットワーク(KG-NET) ・関西圏地盤情報協議会(KG-C) ・関西圏地盤DB運営機構(KG-A) ・関西圏地盤研究会(KG-R)	1984～	関西圏地盤情報データベース:随時更新 http://www.kg-net2005.jp/
	四国地盤情報活用協議会	2004.10.13～	四国地盤情報データベース http://www.skr.mlit.go.jp/yongi/kisya/img/2006_0621_02.pdf
	九州地盤情報システム協議会	2005.12	九州地盤情報データベース http://www.jiban.or.jp/organi/bu/chousabu/jibandatabaseH18.pdf
	九州地質調査業協会	1981	福岡地盤図:2007年にCD-ROMとして復刊
	NPO法人 地質情報整備・活用機構 (社)全国地質調査業協会連合会	2009.1.28～	地質情報ポータルサイト http://www.web-gis.jp/index.html
若松ほか	2005	「日本の地形・地盤デジタルマップ」東京大学出版会	
石油天然ガス・金属鉱物資源機構		金属鉱物資源国内調査データ検索システム(現在メンテナンス中のためアクセス不能) http://www.jogmec.go.jp/data/index.html	
日本原子力研究開発機構		坑井温度プロフィールデータベース/温泉地化学データベース http://www.jaea.go.jp/04/tisou/program/database.html	
新エネルギー・産業技術総合開発機構		坑井データ管理システム CD-ROM(関係者のみ) 基本となっているのは、地熱促進調査報告書のデータ(これはネット公開されている)。	
産総研	2007.10～	関東平野の地下地質・地盤データベース http://riodb02.ibase.aist.go.jp/boringdb/ (その他多数の地質図・データベース類有り)	

第3表 地質地盤情報の整備に基づく情報の流れと利用例。

目的	調査者＝データの生産者	→ 発注者	→ データ管理者・保管者	→ データ配信者	→ 想定される主たる消費者＝情報の利用者	情報の利用者が生産するもの(有形、無形)	備考
公共土木・建築事業	・地質コンサルタント	・国・地方自治体	・国・地方自治体	・国・地方自治体	・国・地方自治体	・防災施策、都市整備計画 ・建築物、構造物 ・地中熱利用システム ・論文(知的基盤)等	・現在は公共事業のデータが公開・配信され始めている。 ・ただし、今後の方向性は不透明か(景気、自治体の財政状況に左右される)。
土木事業、建設事業		・建築会社 ・土木工事事務所	・建築会社 ・土木工事事務所	(配信される可能性は極めて少ない?)	・国・地方自治体 ・地質コンサルタント ・地中熱利用開発業者 ・研究者	・防災施策、都市整備計画 ・建築物、構造物 ・地中熱利用システム ・論文(知的基盤)等	・民間企業のデータは外に出ないで内部でのみ消費もしくは消滅する。 ・実施数が多いので、二次的な地質構造解析を行うために非常に有益であり、消費者(地質コンサルタント、建築業者等)ニーズも高いと思われる。
資源探査(石油、天然ガス、地下水など)	・資源開発会社	・資源開発会社	・資源開発会社	(配信される可能性は極めて少ない?)	・地質コンサルタント ・資源開発会社 ・研究者	・地下資源(鉱物、石油、ガス、地熱、地下水等)開発地点の選定 ・論文(知的基盤)等	・日本では、資源関係の情報は、会社の存否に関わるという意識が強し、公開は難しい。 ・海外では、逆に資源情報を公開することで資金の提供、探査から生産に結びついている場合もある(例えば、ゴールドコープチャレンジ、2000年)。
温泉開発	・温泉掘削業者	・温泉開発会社	・地方自治体(温泉掘削申請のために保管しているが、情報公開条例の中で非公開に位置付けられている「個人情報・法人情報」に当たると判断され、データを公開できないのが一般的)	(配信される機会は少ない) ・温泉協会等公益法人 ・地方自治体等?	・地方自治体 ・温泉開発業者 ・温泉ファン ・研究者	・温泉管理施策(生産、掘削、安全対策) ・新たな温泉源開発 ・蘊著・評論(地域文化、効能等と連関) ・論文(知的基盤)等	・地方自治体による自治事務であるが、自治体による管理はあまりきちんと為されていない。 ・温泉分析書については、公開しても良いとの判断が一般的。 ・稀に、温泉開発会社や温泉協会等が成果として地質情報を公開することあり。 ・温泉掘削許可申請に対する判断のために、科学的データが必要と認識されている場合もある。
地質情報の整備(知的基盤整備)、地震・火山観測等	・研究機関 ・国機関	・研究機関 ・国機関	・研究機関 ・国機関	・研究機関 ・国機関	・国・地方自治体 ・研究者 ・地質コンサルタント	・防災施策 ・論文、報告書、地質図等	・守秘義務(例えば受託研究、企業との共同研究等)がからない限り、公開が原則(論文、報告書、地質図等)。

笹田政克氏

・地すべり研究における地質地盤情報の利活用について

弘前大学農学生命科学部 榎垣大助氏

今後も引き続きユーザー側の視点を取り入れた意見交換会を実施し、これらの意見交換会を通して得られた知見・議論の内容を取りまとめ、平成19年3月の提言に引き続き、新たな提言をまとめる予定である。

### 3. 地質地盤情報の整備の推進と利活用

本協議会の活動及び提言書の公開と並行して、国土交通省でも、これまでの公共事業により収集してきた地盤情報の利活用を目指し、平成18年度に「地盤情報の集積及び利活用に関する検討会」が設置され、平成19年3月2日には「地盤情報の高度な利活用に向けて 提言 ～集積と提供のあり方～」が取りまとめ

られ公開されている([http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/13/130302\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/13/130302_.html))。これが、KuniJibanの公開(<http://www.kunijiban.pwri.go.jp/>)へと繋がっている。

また、平成16年度には、(独)防災科学技術研究所を中心として「地震防災のための統合化地下構造データベース構築の必要性について」という提言書がまとめられている([www.j-shis.bosai.go.jp/j-map/result/usdb/usdb.pdf](http://www.j-shis.bosai.go.jp/j-map/result/usdb/usdb.pdf))。この提言書を元に、平成18年度より「統合化地下構造データベースの構築」(科学技術振興調整費)が開始されている(<http://www.chikad-bosai.go.jp/>)。その他にも地質地盤情報の整備に向けた様々な活動がなされてきているが、主な活動を第1表にまとめた。また、これらの活動を踏まえて、現在までに整備されてきているデータベース・資料集等について第2表にまとめた。

最近のこれらの活動やデータの公開という一連の動きを見ると、地質地盤情報を総合的に整備・データベース化し公開し、それらを有益な情報として社会

に還元していくということが、「安全・安心な社会」を構築するために必要かつ喫緊の社会的課題であると、ようやく認識されるようになってきたと言えるであろう。しかしながら、まだその整備は全データ量から見ればごく一部であり、実際にはまだ大量の未整備なデータが埋もれているはずである。今後は、このようなデータに関しても、社会基盤情報として利活用すべく、整備を進めることが必要である。

第3表には、その整備から利用に至る情報の流れ、担当する機関と新たな利活用の例を挙げた。例えば、公共事業のみならず様々な土木・建築事業のボーリングデータは、国・地方自治体による防災施策（地震動予測、液状化現象対策等）や都市整備計画に利用されると共に、適正な強度を有する建築物の設計にも利用されうると考えられる。また、資源に関わる地質地盤情報については、天然ガスや温泉といった資源の開発・管理にも活かせるであろう。もちろん、これ以外にも新たな利活用が生まれてくる可能性は大である。なお、具体的に想定される事業事例は、(社)全国地質調査業協会連合会により取りまとめられた研究報告書「地盤情報の活用と新ビジネス

—地盤情報の資源化への道のり—」(<http://www.zenchiren.or.jp/geoinfo/katuyou.html>)に詳しく記されているので、これを参照していただきたい。

#### 4. おわりに

ボーリングデータを中心とする地質地盤情報は、防災施策、環境保全、立地評価等のための知的基盤情報として重要であり、これを継続的かつ責任ある体制の下に整備・公開されるようにする必要がある。現在では、情報技術の発達もあり、その整備・公開がかなり進んできているが、それ以上にまだ未整備の情報が様々な場所に眠っているのが実情である。これらについての一層の整備推進のためには、関係機関の連携の下、地質地盤情報の取り扱いに関する法的位置付けを明確にすること、及びユーザーの視点に立った地質地盤情報の重点的な整備を進めることが必要であろう。

---

SAWAKI Takayuki (2010) : Activites of the "Geoinformation Consortium Japan".

---

<受付：2009年12月2日>